七五三まいり
十月一日より厳修

名古屋 成田山

発行所　愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電話　0568（61）2583(代)
FAX　0568（62）7020
振替　00890-4-19213
毎月1回25日発行

犬山成田山 検索 ↑クリック

創刊 昭和29年1月25日（784号）令和元年9月25日発行

秋彼岸会法要

教苑

数珠職人の道

数珠（じゅず）とは日本仏教に伝わる大切な法具・仏具の一つです。

数珠は合掌する手に掛けて自らを落ち着き静め仏さまと心を通い合わせる法具でもあり、また念仏を唱えその数を数えるためにも使われます、そのため【念珠（ねんじゅ）】とも呼ばれます。

数珠の歴史は古く、インドが発祥の地とされておりお釈迦さまの誕生する前から礼拝の道具として使用された記録もあります。

私は20代初め頃、勤め先で初めて京都の数珠職人と携わる機会が有り、その匠の技にとても衝撃を受けました。また色々と数珠に関する謂れや説明を聞くうち、これほど深い意味や理（ことわり）があることに感動し今までに無い興味が溢れる思いで一杯になりました。

人生には突然何が転機になるか分かりません、その後私は「絶対に数珠の職人になる」と強い意思を持って京都へ移り住み数珠専門店で修業を始めました。

京都での修行を終了し、地元の愛知県で店を始めるという念願が叶い、2002年北名古屋市で翔龍念珠堂　数珠専門店を開業いたしました。愛知県では仏壇店は多いのですが数珠の専門店はほとんど無く、あまり馴染みが無いと思います。

翔龍念珠堂は数珠職人である私が仕入れから製造販売までを責任を持って行っております。世界中から集めました厳選素材を用いて古来からの技法に新しい感覚を取り入れたお店です。

お数珠は切れてしまった糸を替えたり、房を新しく付け替えたりとお直しをしながら代々受け継いでお使いいただくことも出来ます。

先日も故人である御祖母様のお数珠を形見としてご親族6人で分けたいので少しでも良いので形見のお数珠の玉を入れて新しくお数珠を作りたいとのご要望があり、20代のお孫様男女用・50代のご姉妹用とご家族分のお数珠をお仕立てさせていただきました。

このように様々な形で現代の方にも数珠を知っていただき未来へと受け継いでいただくためのお手伝いをさせていただきたいと考えております。

翔龍念珠堂　池田紀文

秋彼岸会法要営む

秋のお彼岸中日に当たる九月二十三日、午後一時半より弘法堂において、宮本主監お導師のもと秋彼岸会法要が営まれました。

法要には当山関係物故者のご遺族を始め、「霊雲閣」にお位牌を奉祀されているご遺族が多数参列され、諸精霊に供養の誠を捧げられました。

また法要後は、霊雲閣にて位牌を奉祀された各家の先祖代々精霊への回向が営まれました。【写真】

岐阜県自動車会議所・岐阜県交通安全協会主催

交通安全祈願祭厳修

九月二十日、午後一時半より岐阜自動車会館（岐阜市日置江）六階大会議室において、岐阜県自動車会議所・岐阜県交通安全協会主催の交通安全祈願祭が宮本主監お導師のもと厳修されました。

九月二十一日から三十日まで実施される「秋の全国交通安全運動」に先立ち、岐阜県では二十日、「自動車交通事故防止大会」が岐阜自動車会館において開催され、大会冒頭、交通安全祈願祭が執り行われました。【写真】

大会には岐阜県内の自動車関係、交通安全関係の代表者など、約三〇〇人が参加されました。

第56回

成田山学童席上揮毫大会

一、日　時　十月五日（土）午前七時～午前十一時三十分
一、受　付　信徒会館一階玄関前にて午前六時三十分より受付
一、会　場　信徒会館一階ホール
一、参加資格　幼・小・中・高校生
一、参加費　無　料
一、作品形式　規定半紙縦書き（当日会場にて規定半紙を二枚配布）
一、成績発表　十月下旬に中日新聞及び当紙上にて
一、表彰式　十一月九日（土）午前十時　信徒会館一階ホールにて
一、注意事項　会場での練習はできません。作品は参加者自身が選ぶこと。提出された作品は返却しません。

【課　題】

幼　年　こ　え
小一年　ちから
小二年　おみやげ
小三年　手づくり（楷書）
小四年　力走する（楷書）
小五年　強い信念（楷書）
小六年　弘法大師（楷書）
中一年　代表委員会（楷書）
中二年　代表委員会（行書）
中三年　代表委員会（行書）
高校生　雲寒菊有花（自由）

第35回 成田山全国競書大会

日中友好少年少女書道交流団に参加して

愛知県立豊田西高等学校一年　熊谷　葵　さん

この度は第35回成田山全国競書大会において、駐日中国大使賞という大変名誉ある賞を頂けたことをとても光栄に思います。また、日中友好少年少女書道交流団の一員として、書の故郷である中国で貴重な体験をさせていただいたことに、心から感謝致します。

自分の日常を非日常の世界から見つめることで、新たな発見をたくさんすることができました。その中でも特に印象に残ったことが３つあります。

書席会での揮毫（右）と書き上げた作品（左）

１つ目は、書道に対する自分の意識がかわったことです。私はこの派遣に参加する前まで、ずっと複雑な気持ちでいました。中学３年生の冬、だんだん書道に費やす時間が減ってきているのを感じてもうやめようかと思っていた矢先、特別賞受賞の報告をうけました。嬉しい気持ちがある反面、本当に自分でいいのだろうかという気持ちがずっとありました。

しかし今回の訪問で書席会に参加して、私の気持ちに大きな変化がありました。自分と同じ学生の方たちが実際に字を書いている姿を見ることができ、とても刺激をうけました。周りの人たちが真剣に作品を書いている姿を見て、その人たちの書道に対する想いが伝わってきました。

また、今まで味わったことのない緊張感の中で書くことも、良い経験となりました。この緊張感の中で自分の納得のいく作品が作れるかが不安でしたが、自分の出せる力が十分に発揮できたので、自信に繋がりました。

書席会に参加したことで自分も書道の面白さを感じ、もっと上手くなりたい、もっといろいろな書体に挑戦したいと思えるようになりました。

２つ目は、普段当たり前にあるものの大切さに気付けたことです。日本では当たり前のことが海外では必ずしもそうでないということに気づき、日本の文化や考え方の良さを改めて感じました。

また、中国で異文化に触れ、日本にはない魅力を見つけることで、外国に興味を持ついいきっかけとなりました。

万里の長城に登り中国の歴史に触れる

そして何より、一人で参加したことで家族や友人など、いつもそばにいてくれる人の大切さを改めて感じました。私は一人で参加させていただいたので、自分のことは自分でちゃんとやらないと思っていました。しかしいろんな事で手一杯になってしまい、周りの人に迷惑をかけてしまうことがありました。だからこそ、その場にいてくれた人たちの些細な気遣いでさえ、とても大きなものに感じられ、普段自分がどれほど多くの人に支えられていたのかを知ることができました。

３つ目は自分から積極的に行動を起こす大切さに気づけたことです。私は今まで、自分から初めて合う人に話しかけたりすることに対して抵抗がありました。しかし、派遣団の仲間たちと５日間過ごしたことで、待っているだけではいけないということを身にしみて感じました。

初めて日本側の人たちに会ったとき、私はみんなと仲良くなりたいという気持ちがありながらも、なかなか自分から話しかけることができませんでした。しかし、このままでは何も起こらないと思ったので、勇気を出して話しかけました。相手がどのような反応をするかが不安でしたが、いざ話してみるとすぐに仲良くなれたので安心しました。そのとき、みんなそれぞれ誰かと仲良くなりたいという気持ちを持っていたことに気づき、恐れずに話しかければ相手も心を開いてくれることが分かりました。これからは自分から積極的に話しかけて、コミュニケーションの輪を広げていきたいです。

また、役員の先生、添乗員さん、看護師さんなどには大変お世話になりました。困ったことがあったとき相談に乗っていただいたり、体調が優れなかったとき気にかけていただいたりなど、多くの場面で助けていただきました。

最後のお別れのとき、この５日間の楽しかった記憶が思い起こされ、切ない気持ちになりました。「みんなとは絶対にまた会える」と自分に言い聞かせないと、胸が痛みました。皆さんと出会えたことで、新たな発見をすることができ、成長することもできました。私にとってこの経験は、何事にも代え難い大きな価値のあるものでした。またいつか再会できる日が来ると信じて、それまで書道の腕を磨きたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださいました橋本貫首、岸田名誉団長、吉澤団長をはじめとする、今大会に携わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

開創六十六周年記念大祭

大本山成田山新勝寺貫首
橋本照稔大僧正ご親修
記念大法要
十一月三日（文化の日）
午前十一時より本堂にて厳修

十一月二日（土）

宗祖弘法大師報恩法要・出世稲荷法楽

（午前九時　弘法堂、出世稲荷堂）

献華式（午前十一時の大護摩供に併催）

十一月三日（文化の日）

開創六十六周年記念大法要（午前十一時　本堂）

記念大祭式典（記念大法要終了後 本堂）

大祭記念大護摩供（午前九時、午後一時、三時　本堂）

八方宝剣法要（午前九時半　祈祷殿屋上）

御護摩祈願のご案内

御護摩祈願は、不動明王御宝前で護摩木という特別な薪を焚いて心願成就を祈る修法です。当山では毎日、ご信徒皆様のお願い事の成就を祈り、本堂で厳修しております。

お申し込みの方には、お不動様の御分身である御護摩札（左写真）を授与します。自宅や事業所などの清浄な場所を選んでおまつりし、御宝号「南無大日大聖不動明王」や不動明王御真言をお唱えし、お願い事の成就をお祈りください。

時　刻　午前七時・九時・十一時・午後一時・三時

場　所　本堂

祈祷料　三千五百円・五千円・一万円・二万円

三万円以上（特別大護摩）

御護摩札

十一月三日には上記の通り、開創記念大護摩供を厳修し、特別な護摩札を授与いたします。ご信徒各位にはこの勝縁に是非ご参拝頂きたく、ご案内申し上げます。

案の會だより

支部総会開催

―丹羽支部―

八月四日、丹羽支部（支部長＝社本宮明氏）の支部総会が、信徒会館一階ホールにて開催されました。

総会に先立ち、丹羽支部員物故者に対し、黙祷を捧げ、事務局より開会が宣言されました。引き続き、千田成年氏のご発声で誓いの言葉を唱え、社本支部長より挨拶を頂き【写真】、今年度の評議員を委嘱された方々へ、宮本主監より委嘱状と記念品が手渡されました。来賓挨拶では、藤川政人参議院議員、続いて鈴木雅博大口町長、千田勝隆扶桑町長にご挨拶を頂きました。

議事では、社本支部長が議長を務められる中、今枝事務長より昨年度の事業報告並びに収支報告が行われ、今年度の事業報告案、予算案が提出されました。その後、会員相互の親睦を深める会食に移り、有意義な一日を終えました。

青山記

役員会開催

―伏見口支部―

―御嵩冨士支部―

八月二日、伏見口支部（支部長＝植松武氏）御嵩冨士支部（支部長＝永田博一氏）の合同役員会が地元にて開催されました。計画されていた三河静岡方面への支部合同参拝旅行の日時が九月二十四日に決まり、最終調整がされました。

上林記

―伏見口支部―

八月二十四日、伏見口支部（支部長＝植松武氏）の役員会が可児市内にて開催されました。二日に行われた御嵩冨士支部との合同参拝旅行の最終打ち合わせの報告がされました。続いて年内の支部活動について話し合われ、承認されました。

上林記

素の会 新入会員芳名

津島市	加藤　英一	
〃	加藤　有紀	
江南市	㈱三ツ倉家具製作所	
〃	今井　洋子	
岩倉市	南　清志	
〃	大野　慎治	
〃	井上　真砂美	
〃	鴨川　みつ代	
〃	中川　孝子	
犬山市	田中　香代子	
〃	安田　里美	
小牧市	舩橋　精子	
〃	吉田　弘子	
江南市	佐藤　純子	
〃	奥村　悠二	
稲沢市	大西　昭夫	

役員異動

〈丹羽支部〉

（新任）市橋　茂機（評議員）
（〃）松岡　徳雄（〃）
（〃）山田　雅子（〃）
（〃）長谷川　実（〃）

貞照寺だより

秋彼岸会法要営む

九月二十三日、宮本住職お導師のもと秋彼岸会法要が営まれました。

午前十時からの法要には、檀信徒をはじめ大勢のご家族、親族が参列され、心静かに合掌焼香して供養の誠を捧げられました。

本堂での法要終了後、引き続き水子地蔵尊宝前において法要が営まれ、多くの方々が参列されました。

成田山鵜沼霊園 墓地分譲のご案内

当山内霊園の若干数の区画を分譲いたしております。残りの区画は僅かになりました。お早めにお申込み下さい。

この機会に成田不動尊お膝元の当霊園と是非ご縁を結ばれますよう、謹んでご案内申し上げます。

詳細は成田山貞照寺までお問合せ下さい。

〇五八―三八四―〇二〇二

受付時間10時から14時

開創八十六周年記念大祭のご案内

10月28日（月）

◆諸芸上達大護摩供

午前10時半より厳修

◆奉納コンサート

午前11時より開催

出演　鈴木みどり（ボーカル）

服部　彩未（ピアノ）

皆様にお馴染のジャズ・ポップスの名曲を演奏いただきます。入場無料です。

8月分 奉納者芳名

（順不同敬称略）

◆幟

名古屋市　佐藤　公彦
〃　佐藤　あかね
神奈川県　㈱レヴォステージ
　虫鹿　恭正

◆大ローソク

各務原市　安達　重厚
　安田　浩之
　幅　絵里香
奈良県

◆お供

可児市　中野　功三
犬山市　上杉　超治
〃　中山　佳子
各務原市　中野　隆
〃　渡邉　貞子
〃　清水　きよ江
山県市　鈴木　あけみ
可児市　西舘　照能
各務原市　原　敬徳
岐阜市　伊藤　泰子

貞奴縁起・諸芸上達・所願成就
成田山貞照寺
〒509-0123
各務原市鵜沼宝積寺町5-189
電話　(058)384-0202

10月の成田山行事

◆ご縁日　1日、15日、28日
◆七五三まいり
　10月1日～11月30日
◆学童席上揮毫大会　5日
　午前7時～11時半
　信徒会館1階ホール
◆ご詠歌講習会　15日
　午後1時　信徒会館3階
◆ほうろく灸　21日　弘法堂
◆写経会　28日　信徒会館3階

『七五三まいり』のおすすめ

◆期　間　十月一日～十一月三十日
◆ご祈祷時間　午前九時より午後三時まで
◆ところ　本堂
◆ご祈祷料　五千円以上（御札、お守り、千歳飴、ジュース、日本モンキーパーク招待券付き）

銅板志納者芳名

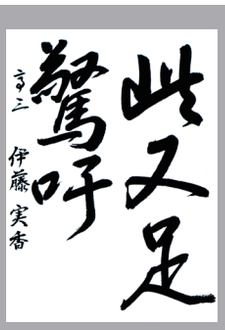
（順不同敬称略）

八月

名古屋市　市川　実
多治見市　早川　勇
小牧市　㈱エムエフエス
東海市　古田　旭永
岩倉市　ソノケミカル
丹羽郡　伊之助　増田
〃　増田　京子
〃　増田　勝也
小牧市　勝田　鉱一
〃　伊藤　昭
犬山市　南　東元
名古屋市　井上　英子
岐阜市　武藤　福光
〃　上手　宏之
〃　武藤　梨沙
丹羽郡　坂野　友哉
常滑市　森川　晃好
岐阜市　山田　豊
各務原市　伊藤　久代
名古屋市　遠山　一良
〃　遠山　正弘
桑名市　桑原　強
いなべ市　安藤　公一
名古屋市　宮澤　保雄
岐阜市　熊崎　ひとみ
羽島市　坂井田　正之
犬山市　寺元　良子
稲沢市　河合　和彦
名古屋市　深川　雅央
〃　深川　真由香
〃　樋江井　和子
一宮市　深川　元喜
山県市　鈴木　博
名古屋市　㈱TKB
名古屋市　住友電設㈱　通信システム事業部
丹羽郡　成田山索の会　丹羽支部
豊田市　都築　玉江
丹羽郡　㈲大矢設備
海部郡　㈱緒方建設　緒方　武志
各務原市　セイラン㈱　森山　雅紀
東海市　大塚　友紀
〃　㈱シンキ・コーポレーション　早川　徳道
名古屋市　成田山金山橋講
港トラック成田講
山県市　成田山岐北月参講
◆索の会　名古屋成田講支部
港トラック支部
港名古屋講支部
岐北月参講支部
金山橋講支部
聖道支部

紙上書道展

高三　伊藤　実香
【評】余白の美、行の中心もとれた作品。



小六　杉原　瑠
【評】まじめに書けてやさしく感じる作品です。

小五　岩田　有音
【評】すなおな筆づかいで書けています。

八月の大護摩供修行者芳名

（順不同敬称略）

名古屋市　港トラック成田講
瑞穂市　丸門建設㈱
羽島市　丸門運輸㈱
東近江市　滋賀丸門運輸㈱
多治見市　㈱アーネストワン　多治見営業所
春日井市　春日井ライオンズクラブ

八月の自動車特別ご祈祷修行者芳名

（順不同敬称略）

加茂郡　後藤　好正
可児市　水野　博允
名古屋市　臼井　秀子

八月の登山講社

名古屋市　名古屋成田講
〃　成田山港名古屋講

おくやみ

髙木　照京　僧正

当山元参与　髙木照京僧正が九月四日、遷化されました。告別式は九月七日、シオン犬山斎場にて営まれました。喪主は髙木栄司氏。

林　銀治　氏

索の会味鋭成田講支部顧問林銀治氏が八月二十日、逝去されました。告別式は八月三十一日、平安会館味美斎場にて営まれました。喪主は林正春氏。

石黒　晴子　さん

索の会一般会員㈱フタムラ建材店　石黒晴子さんが八月一七日、逝去されました。告別式は八月二十一日、自宅にて営まれました。喪主は石黒久貴氏。

「編集室より」は紙面の都合上、休載いたします。